

保育の「量の見込み」のアンケート結果による見直し案の考え方

アンケート調査の概要

平成28年8月に0歳～12歳の子どもがいる世帯のうち、無作為に抽出した5,000世帯を対象に、郵送法によりアンケート調査を実施。
有効回答数は2,712世帯。不達返送の7世帯を除いた回答率は54.3%。

「量の見込み」の算出

- ① 回答があった世帯のうち、就学前の子どもがいる世帯を抽出。
- ② ①で抽出した世帯のうち、両親が「就労している世帯」と「就労を希望している世帯」を抽出。
- ③ ②で抽出した世帯のうち、「保育所等の利用希望がある世帯」の割合を人口推計に掛け合わせて「量の見込み」を算出。

<以上の過程で算出した「量の見込み」>

年 度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込み	21,659人	21,381人	21,120人

「量の見込み」の修正

上記で算出した「量の見込み」のうち、0歳児については育児休業を取得する場合がありますため、0歳児の「量の見込み」に育児休業取得率(66.9%)を掛け合わせ、「量の見込み」を修正。

<修正後の「量の見込み」>

年 度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込み	<u>19,379人</u>	<u>19,130人</u>	<u>18,906人</u>

注) 育児休業取得率は「量の見込み」と入園申込児童数から推計した数値。